

自然共生サイト認定

湘 南 国 際 村
め ぐ り の 森

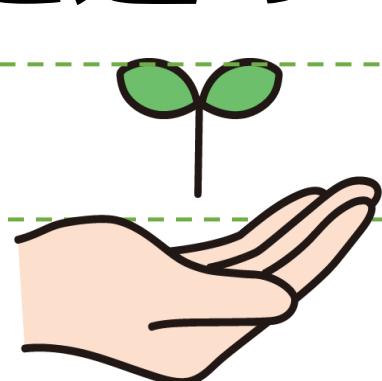
Shonan Village Meguri no Mori

概要

めぐりの森は、神奈川県三浦半島の中央、横須賀市と葉山町にまたがり「緑陰滞在型の国際交流拠点」として整備された、湘南国際村の東側に位置する森です。

「大楠山に連なる緑を活用した地区」として、市民、企業、一般社団法人やNPO法人等の団体、行政が協働して、自然環境の再生・保全と活用を進めています。

年表



1994年 湘南国際村開村。かつてゴルフ場として開発・利用され、1972年以降閉鎖・放置された地域を整備し開村となった。

2006年 社会経済環境の変化を受けて、未整備のエリア（現在のめぐりの森）は、「緑の再生と保全を図る地区」として活用を図ることとなった。

2010年 開発事業者からめぐりの森の無償譲渡を受け、神奈川県の管理となる。

体制

● 湘南国際村めぐりの森保全活用協議会

めぐりの森の活用について包括的にマネジメントするための、情報共有、意見交換、活用策に関する県及び事業主体への提言等を行う。めぐりの森の趣旨に賛同する団体、湘南国際村村内機関、関係行政機関等で構成。

● 協働参加型めぐりの森づくり推進会議

混植・密植植樹、自然体験等の、森づくりのコアとなる事業を実施する実施主体が、事業についての議論や報告を行う。以下の2つの事業実施グループなどで構成される。

混植・密植方式植樹推進グループ

宮脇昭横浜国立大学名誉教授が提唱した土地本来の樹種である常緑広葉樹を中心とした混植・密植方式によって植樹を行っている。

- ・年2回（春・秋）の植樹祭
- ・森づくりにつながるライフイベント
- ・企業との森づくり

＜運営団体＞

非営利型一般社団法人Silva（シリワ）【グループ長】

株式会社大川印刷

大楠観光協会

NPO法人グリーンパワーファクトリー

株式会社研進

国際ソロプチミスト横須賀

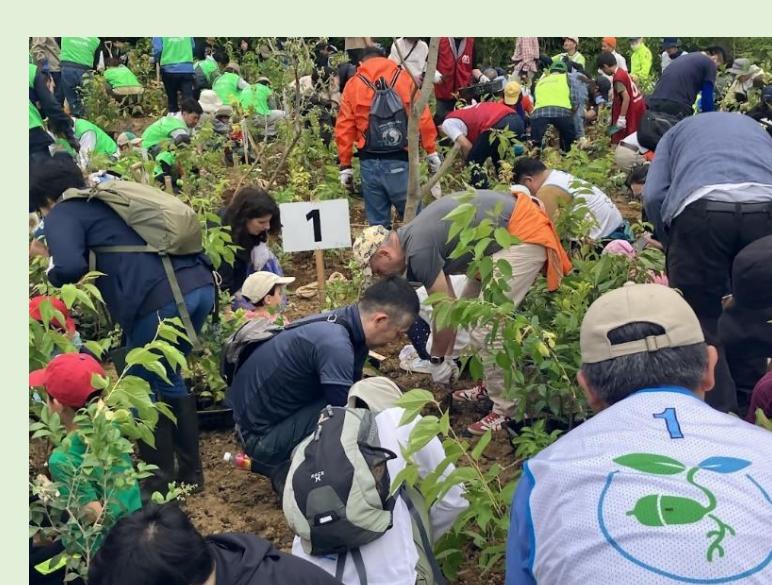
社会福祉法人湘南の凪

社会福祉法人進和学園

株式会社サンケイアイ

[2025.11月現在]

- ・植樹累計本数86,292本
- ・来場者数13,218名達成
- ・約2.55haの植生を復元
(2025.11月時点)
- ・年間342.5トンのCO₂固定
(Silva調査)



「自然ふれあい楽校」グループ

自然環境や生物の保全・再生につながる、様々な問題を解決するために、自然とふれあい、楽しみながら、学んでいくことが大切だと考え、自然観察・管理体制験スクールや里山環境を維持するための活動を行っている。

＜運営団体＞

NPO法人三浦半島生物多様性保全

We Love 自然ふれあいの森

NPO法人才オーシャンファミリー海洋自然体験センター

葉山の環境を守る会

三浦半島自然保護の会

CINEMA CARAVAN

株式会社 LaLaLand Holdings

認定NPO法人 産業クラスター研究会 [2025.11月現在]



自然共生サイト

2025年9月16日付

「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づく「自然共生サイト」として、**環境大臣・農林水産大臣・国土交通大臣より認定！**



80.6ha
が認定！



※2024年10月21日付で自然共生サイトに認定済み。2025年4月より上記法律が施行されたため、改めて申請し認定を得た。

自然共生サイト：30by30目標達成のため環境省が令和5年度から開始した取組で、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のこと。認定区域は、保護地域との重複を除き、「OECM」として国際データベースに登録される。

OECM(Other Effective area-based Conservation Measures)：保護地域以外で生物多様性保全に資する地域。

30by30：生物多様性条約第15回締約国会議で採択された目標で、2030年までに陸域と海域の30%以上の保全を目指すもの。



【概要】

- 民間団体と協働し緑の再生・保全と活用を継続的に進めている。
- 混植・密植方式による植樹により崩壊地植生が徐々に潜在自然植生へと回復している。
- 茅場の環境を保全し、ヤマハギやヤマユリが生育、ニホンキジやノウサギの生息が確認されている。

【特色1】 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

かつては茅葺き屋根の原材料として広大な茅場(カヤト)が維持されていたが、開発の時代を経て現在は多くが二次林となっている。それでも一部では茅場の環境が復元し、ヤマハギやヤマユリが生育し、ノウサギやキジが利用する草地が3haほど存在している。

- ・主な植生：ススキを主体とする乾生高茎草本群落
一部にオオシマザクラ、ハコネウツギ等
- ・確認された動物：キュウシュウノウサギ、ヒミズ、ニホンキジ、ジョウビタキ、シュレーゲルアオガエル等



ニホンキジ

【特色2】 生態系サービスの提供の場であって、

在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

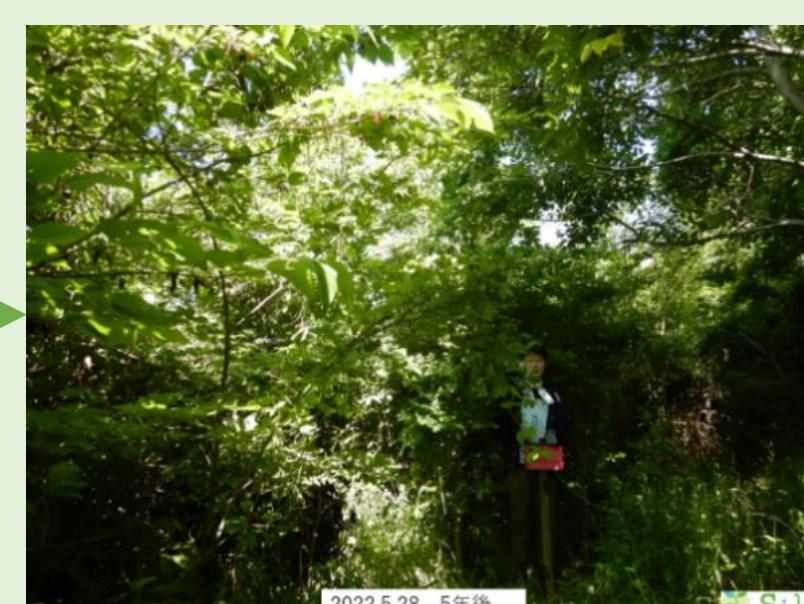
県有地に多くの活動団体が関わり、緑の保全や回復のための様々な活動が協働参加型で行われている。混植・密植方式による植樹が定期的に行われており、崩壊地植生が徐々に潜在自然植生へと回復している。水源林やかつての薪炭林、茅場など伝統的な里山環境も残っており、多くの市民に親しまれている。



土壤手当・植樹前の崩壊地植生
(Silva撮影)



植樹活動の様子



土壤手当・植樹から
5年後の潜在自然植生
(Silva撮影)

【特色3】 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場

三浦半島地域の多くの農村集落家屋は、付属屋も含め以前は寄棟式の茅葺平屋建がほとんどであった。当時は各集落の結いによって茅(ススキ)の葺き替えが行われてきたが、結いの破綻によってすべて外部発注方式となり、その委託費が高額に上ることから現在残るのは80棟ほどに激減した。めぐりの森に存在する乾生高茎草地3haの中でも、特に状態の良いススキ草地約8000m²をススキ採草地として復元し、地域の茅葺き屋根材の資源として提供している。



茅の草地



茅葺屋根

位置図（アクセス）

めぐりの森は、都心からほど近い神奈川県湘南国際村の中にある、大楠山や相模湾を見渡せる高台にあります。新宿から約1時間30分ほどで到着します。

- JR逗子駅前または京急逗子・葉山駅前、
いずれも1番バス乗り場より「湘南国際村センター」行き利用で「湘南国際村センター前」下車（約30分）
- 京急汐入駅前、
2番バス乗り場より「湘南国際村(汐16)」行き利用で「湘南国際村センター前」下車（約30分）

【注意事項】

めぐりの森は神奈川県の所有地です。以下の点にご注意ください。

- めぐりの森は緑の再生と保全を目指す神奈川県の行政財産です。許可を受けた方以外は立入禁止です。（横須賀市道部分等は除く）
- めぐりの森内のバイク・自転車の乗り入れ、ドローン・ラジコン飛行機・ヘリ、火気の使用、動物の放し飼い・訓練などの危険行為はしないで下さい。
- これらに違反した場合、警察への通報等を行うことがあります。
- 許可を受けずに立ち入り、事故等にあっても、県は一切の責任を負いません。



▼めぐりの森の風景



めぐりの森で一緒に活動しませんか。

【発行日】2026年1月

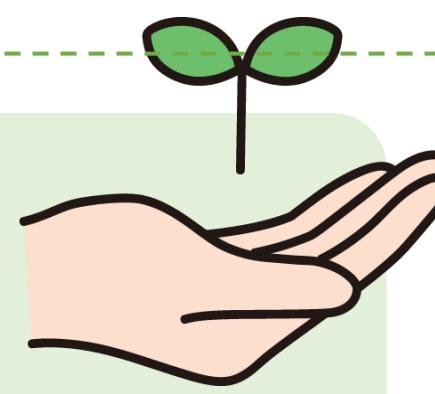
※このパンフレットは2025年11月時点のものです。

【問合せ先】

住所：横浜市中区日本大通1

協働参加型めぐりの森づくり推進会議 事務局
(神奈川県政策局自治振興部地域政策課内)

電話：(045)210-1111 (代)



神奈川県ホームページ
めぐりの森